

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	仏語第一		
英文授業科目名	Elementary French I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	数藤 征枝		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
三浦清美教官 < miura. @bunka. uec. ac. jp >	

【主題および達成目標】
フランス語の「基礎の基礎」を学ぶ。ほとんどの学生諸君はフランス語を学ぶのは初めてなので、まず、発音とつづり字の関係、初級文法の初歩を理解することが目標です。英語以外の外国語を学ぶことで、世界にはいろいろな言語があることを理解し、2千年の歴史を持つフランス文化に触れることで「国際化」の意味について考えることにつながればよいと思います。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
(例) 教科書：『新モン・フランセ』駿河台出版社 参考書：随時紹介する

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1 - 3 回：発音とつづり字の関係。発音についてはビデオ・テープ等を使用して、ネイティブのそれを学ぶ。名詞のジャンル分けと単数・複数についてというフランス語の第1歩に取りかかる。それと共に挨拶や簡単な表現を自分の物とする。

4 回目以降はテキストに沿って形容詞、動詞などに進む。

15回目：期末テスト

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

配点の最も大きな要素は期末テストの結果です。その基準をクリアーすること。だいたい7割～8割程度。

出席点、日常行う小テストの結果を加味して総合的に判断します。出席は語学ではとても重要です。何回も繰り返し発音し、聴き、書くことによって進歩するからです。だからといって出席を全部していたら自動的に単位取得というわけにはなりません。ご注意ください！

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メール(いずれ公開の予定)で受け付ける。

【学生へのメッセージ】

外国語の習得には「一気に」ということはありません。つまらないかもしれませんが、地道な努力あるのみ。でも、初めてフランス人とコミュニケーションがとれたときは、とても嬉しく感じるはず。豊かなフランス文化に触れ、人生や愛を大事にする彼らの生き方、人生哲学に何か感じてくれればと思います。予習・復習はとっても大事。努力した分だけ自分に跳ね返ってくるので励みにもなるはず、チャレンジ精神をおおいに発揮して下さい。

【その他】